

Japanese man In NY (ニューヨーク生活)



(Photo: New York in 2008)

くをはじめ、ニューヨークの街をイメージさせてくれた。その他、ルー・リードやアル・クーパー、サイモン&ガーファングルなどはニューヨーク出身のミュージシャンだが、何故かあまり積極的に聴かなかったのを覚えている。また、ブルース・スプリングスティーンなどはニューヨークの隣の州ニュージャージー出身だったが、その風貌や音楽的にも都会的な雰囲気ではなく、何処か土臭い雰囲気を漂わせていたので、いわゆる大都会ニューヨークの街のイメージは沸いてこなかった。

やはり何といっても、ニューヨーク、特にマンハッタンのイメージを感じさせるアーティストといえばビリー・ジョエルだった。彼がニューヨーク州サウス・ブロンクス出身だということは後から知ったことだが、「ニューヨークの想い」「ガラスのニューヨーク」をはじめ、「ピアノ・マン」「素顔のまま」「ストレンジャー」「イノセント・マン」「オネスティ」「アレン・タウン」など、タイトルに“ニューヨーク”が付かなくても何故かニューヨークの街を思い浮かべてしまうヒット・ナンバーばかりだ。

ニューヨークに移り住んでからも、真夜中過ぎにウェイターの仕事を終えてから、路線バスに揺られてアッパー・ウエストにあったアパートにたどり着いた直後にビリー・ジョエルを聴いては、実際にニューヨークの街で暮らしている自分自身に酔いしれたものだ…。

そんなビリー・ジョエルというミュージシャンの栄光とその栄光に隠された素顔を知る上で最適な書籍で、「評伝」としてはもちろん「楽曲ガイド」としても読める初の本格的なビリー・ジョエル本『ビリー・ジョエル 素顔の、ストレンジャー』【東邦出版 マーク・ペゴ(著) / 山本安見(訳)】(http://www.toho-pub.net/pr_billyjoel.php)がこの9月に発売された！ 訳者の山本安見氏は、ビリー・ジョエルのデビュー作から全アルバムの訳詞を担当している人物で、濃密な内容ながらもとても読みやすく、ビリー・ジョエルが生きていた時代の空気を感じさせ、そして、自分にとっては懐かしのニューヨーク生活を蘇らせてくれる本当に素晴らしい作品に仕上がっている。

アルバム・セールスの面からみると、アメリカでもっとも売れたアルバム総数においてビートルズに次いで2位、全世界では1億枚以上ものセールスを誇るが、そこに至るまでのビリー・ジョエルを支えた仲間の光と影、離婚、アルコール依存症など、音楽に対する一途なまでの誠実さの裏に隠されたその多面的素顔が、本人の本音のコメントをはじめ、祖父母や両親、妻、黄金期を支えた元バンド・メンバーの証言などによってChapter 1 からChapter 18 まで詳細に記されている。まさに“ビリー・ジョエル物語”だ。

中でも、16歳から19歳までボクシングにのめり込んで、26戦24勝2敗という戦績を残していたこと。下積み時代に一時期フリーランスの音楽ライターとして活動していたこと。契約を巡るトラブル。ニルヴァーナのカート・コバーンと同じやり方で自殺した元ベースリストのこと。そして、想像以上に大きかったジャズからの影響などなど、この本と出会わなければ知ることができなかった事実はかなり多い。

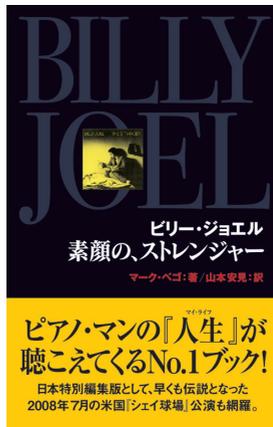
彼の人生とその人生に関わる様々な事柄を思いながら数々の名作・名曲たちを聴き直してみると“永遠のピアノ・マン”＝ビリー・ジョエルが益々大好きになってしまう…。超豪華パッケージで再登場した1977年9月に発表された名作『ストレンジャー』(30周年記念盤)もお薦めです！

《ビリー・ジョエル》

ニューヨークに移り住む前からもうだったのが、ニューヨークで生活を始めてからもニューヨークの街のイメージを連想させる音楽を好んで聴くことがよくあった。

ジャズはアメリカが本場で、ウエスト・コースト・ジャズやニューヨーク・オリンズ、シカゴ、デトロイトなど各都市ごとに特徴的なサウンドがあるものの聴き様によっては全てニューヨークの街がイメージできてしまうので、そんな時はむしろロック系をよく聴いていた。

クリストファー・クロスのヒット・ナンバー「ニューヨーク・シティ・セレナーデ」やスティングが歌った「イングリッシュマン・イン・ニューヨーク」などは直球的なナンバーで、ジョン・レノンの遺作となったアルバム『ダブル・ファンタジー』に収録されている「スターティング・オーバー」や「ウーマン」などもセントラル・パーク



The Stranger
ストレンジャー (30周年記念盤)
Billy Joel/ ビリー・ジョエル
ソニーレコード: SICP-1904-6
価格 5,670円(税込)

プロデューサーにフィル・ラモーンを迎え、1977年9月に発表された5枚目のソロ・アルバムで、ビリーの大出世作となった名作が「30周年記念盤」として、豪華ロングボックス仕様、英文ブックレット(未発表写真満載!)、日本版豪華ブックレット、DVD完全日本語字幕付、2008年リマスターリング、解説・歌詞・対訳付＝超豪華パッケージで再登場！

ビリー・ジョエル
素顔の、ストレンジャー

東邦出版
定価(本体1,800円+税)
ISBN978-4-8094-0730-7